

5-1

より家庭的なショートステイユニットケアを目指して

ショートステイユニットにおけるQOL向上の取り組み

QOLの維持向上

ショートステイ

特別養護老人ホーム・至誠キートスホーム

介護職員 杉田 可奈子

山住 圭

立川市幸町4-14-1

TEL 042-538-2323

E-mail shisei-kiitos@shisei.or.jp

FAX 042-538-2324

URL <http://www.shisei.or.jp/>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要 10p

特養70床、ショートステイ20床、通所介護、訪問介護、地域包括支援、居宅サービス支援センターを設置している。また、特養、ショートステイでは、2000年4月の開設時より、ユニットケアに取り組んでいる。

〈取り組んだ課題〉

- ショートステイユニットの現状把握
- ショートステイのQOL向上への取り組み
 - ・ ショートステイ独自の活動がない
→アクティビティの充実
 - ・ 家庭的な居住空間作り（脱施設化）
→アメニティの整備
- フロアー職員への認知徹底

〈具体的な取り組み〉

- 職員への意識づけの徹底
 - ・ 勉強会開催し職員全員に対するアンケートを実施
 - ・ 活動マニュアルの作成
- ソフト面（アクティビティ）の充実
 - ・ 個別活動（塗り絵、貼り絵、スケッチ、映画鑑賞、ステンシルでの年賀状づくり、米とぎ等）
 - ・ グループ活動（カードゲーム、ボードゲーム、買い物、外出、クッキング）
- ハード面（アメニティ）の充実
 - ・ 居室の快適化（テレビを各居室に設置）
 - ・ 古い雑誌コーナーの設置
 - ・ トイレタリーの充実
 - ・ リビングの模様替え→利用者の作品を取り入れる
 - ・ 浴室の模様替え、入浴剤の使用
 - ・ ユニットに緑を設置
- 活動の見直しと対策の立案
- 職員、利用者に対するアンケートの実施
- 効果の確認と評価の実施

〈活動の成果と評価〉

職員の評価

- ショートステイに光を当て取り組んだのが良かった
 - ・ 活動を通して利用者の表情が生き生きとして見えるようになった
 - ・ 利用者同士の相互交流が見られた
 - ・ 入居ユニットではユニット独自の活動があったが、ショートステイユニットにも独自の活動を作り出せた

○ 環境整備

- ・ 温かみのあるユニットになった
- ・ ユニット内の使い勝手が良くなった

○ 利用者の評価

- ・ 活動していると若返った気がする
- ・ 塗り絵は家に持って帰って貼った
- ・ 米とぎは昔を思い出す
- ・ 何回もトイレに入りたくなる
- ・ 入浴剤を入れると夜よく眠れる
- ・ 出来た作品を飾ってくれてありがたい
- ・ 今後はもっといい作品を作りたい

〈今後の課題〉

- 利用者の個性を生かした活動の提供（より個別化）
- 各居室の環境作り
 - ・ コート掛け、タオル掛け等の設置
 - ・ 明るく温かみのある居室作り

〈参考資料など〉

「大人の塗り絵」 河出書房新社
「マンダラ塗り絵」 春秋社